

# 増床にむけて 病院人事強化！

新事務長に 茅野 経理課長  
 新副院長に 武部 診療部長

今年度計画されている増築・増床にむけて、病院の人事が強化された。六月一日付で、玄々堂君津病院副院長として、玄々堂木更津クリニック武部副院長が就任された。また、同日付で玄々堂君津病院事務長に、茅野清嗣経理課長が就任された。

武部副院長はこれまで当院の診療部長として職務に専念されてきたが、今後は副院長として、より一層の活躍が期待される。尚、玄々堂木更津クリニック院長はこれまで通り武部副院長が兼任される。

「情報が氾濫すると統計的な考えが良しとされる。しかし全ての人は統計で表される大勢の中の一人ではなく、一人一人特別の人として考えられなければならない。どの患者さんも、どの職員も一人一人特別な人であることを心に銘記し、地域医療のために職責を果たしていきたい。」

「情報氾濫すると統計的な考えが良しとされる。しかし全ての人は統計で表される大勢の中の一人ではなく、一人一人特別の人として考えられなければならない。どの患者さんも、どの職員も一人一人特別な人であることを心に銘記し、地域医療のために職責を果たしていきたい。」

「事務長職という大任を命ぜられ、その重責を痛感している。私に課せられた当面の課題は、事務部門の合理化と部課制を基本とした組織力の強化である。増改築後、二〇

〇床規模となる当院の事務部門が十分機能を果たせるような体制を築き上げることが私の任務と考えている。」



茅野清嗣事務長

## 院内研究発表会開催



昨年にひきつづき文化ホールで盛大に

また、事務長に茅野清嗣経理課長が就任された事に伴い、前山口稔事務長は、ノバ・メディクス代表取締役社長に



武部副院長

平成八年六月二十七日、君津文化ホールに於て第七回院内研究発表会が開催された。

内研究発表会が開催された。全聴衆者は約一二〇名。院内外からの聴衆者は、五三名だった。昨年より会場を君津文化ホールへ移し、年々向上する発表内容に加え、パソコンを導入したスライドのカラー化が印象的だった。

特別講演では、大井玄先生より「終末期医療の文化と倫理—告知を主題にして—」というテーマで、大変貴重なお話を聞くことができた。また、高田名誉院長は関連講演で、癌告知のモラルについて述べられた。

（二面に関連記事）

## 日本透析医学会に出席して



臨床工学技士長 三浦 國男

第四一回日本透析医学会は、八年ぶりに名古屋市で七月五日から三日間にわたり開催された。前回はこの地特有の猛暑に辟易したが、今回は

さほど天気に悩まされることもなく、学会終了後の市街の散策も大いに楽しめた。さて学会は名古屋国際会議場を舞台に八、五〇〇人以上が参加し、一般演題一、四〇六題、教育講演、シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション、ランチョ

ンセミナー、市民公開講座など多彩なプログラムが準備されており例年の如くマンモス学会に相応しい規模であった。

本学会には統計調査委員会が設けられており、その報告によれば、わが国の人工透析患者数は昨年末現在で一五四、四一三人で、前年に比べて一〇、七〇四人増え過去最

高になった。このうち糖尿病性腎症からの割合が三二、九%でこれも過去最高で、今世紀中には慢性腎炎を抜き五割近くに達するであろうとの予測が出された。当院も同様で、この合併症の占める割合が年々増加傾向にあり、現在では三三、三%を占めるまでに至っている。最後にこの学会の特色は演題採用が比較的緩やかなことから、我々コメディカルでも積極的に参加出来る環境にあり、今後さらに発展するものと思われた。

（二面に関連記事）

## 「君津市民ふれあい祭り」 当院参加

昨年中止された「いやさか君津踊り」が名を改め、「君津市民ふれあい祭り」として八月三日に行われた。当院も九六名の職員が参加した。

## 糖尿病教室開催



野中検査技師による実演

七月十三日、第十七回糖尿病教室が、管理棟大会議室にて開催された。

今回は、インシュリン治療中もしくは開始しようとしている人を対象に「日常生活の中でどうインシュリンを取り入れるか」をテーマとし、虎ノ門病院分院院長紫芝良昌先生に講演して頂いた。

続いて松本薬剤師により、最近のインシュリン注射器具

## 当院屋上に PHSアンテナ設置

七月のはじめに、君津市にもPHSエリアを拡大する為、玄々堂君津病院屋上にアンテナが設置された。携帯電話が普及している中、エリア拡大と共にPHS人口も増加すると考えられる。

## 南大和病院院長に 吉野谷先生昇任

当院の物療内科外来診療をされている吉野谷定美先生が四月一日付で、姉妹病院である南大和病院の副院長から院長へ昇任された。なお、今後も当院の外来診療は引きつづき行っていたり予定である。

## 初めての試み 新人フォローアップ研修

六月十五日、君津勤労者福祉センターに於いて、茅野事務長、二瓶婦長、総務課有富氏により、当院新入職員を対象とした新人フォローアップ研修が行われた。

今回は二九名の参加のもと、「玄々堂君津病院の職員になって三ヶ月大変だった事、辛かった事を皆で考えよう」をテーマに、それぞれの悩み、反省、これからの抱負など、大変活発な意見交換が行われた。午後からは、木更津クリニックの見学を行い一日のスケジュールを終えた。

## 新人歓迎ハイキング 二七六名参加

平成八年五月二十六日（日）、新入職員歓迎ハイキングが行われた。佐貫駅から出発したAコース（八km）、宝竜寺から出発したBコース（六km）、全行程バスのCコース、自家用車のDコースに分かれ、職員家族も含む総勢二七六名が参加した。マザー牧場に到着後、恒例のバーベキューの席で新入職員紹介、永年勤続表彰が行われた。

## クリニック納涼祭 行われる

八月八日木更津クリニック駐車場において第三回納涼祭が行われた。今年は地域の方々の参加も多く、大盛況の祭りとなった。

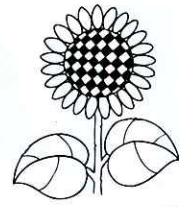
## 高校生による「ふれあい看護体験」

五月十四日、「看護週間」に因み、看護協会主催による「ふれあい看護体験学習会」が当院で行われた。今回は、将来看護婦を志望している木更津高等学校三年生の女生徒四名の参加があった。

内容は、白衣を着て看護婦姿となり、病院で働く人々についての見学学習の他、医療機器に触れ、血圧測定、ベッドメイキング、患者さんの食事介助等の体験学習である。参加した生徒たちは、各部署や初めてみる医療機器に、戸惑いながらも熱心に質問していた。

（二面に関連記事）





実行委員長あいさつ



実行委員長 二瓶律子 氏

先日はお忙しい中、院内研究発表会には多数の方々においで頂きまして、大変ありがとうございました。

当日での発表会も七回を重ね、会場も昨年度より君津市民文化ホールとなりました。今年度は院外からの参加者も五三名と今までになく多くあり、『院内研究発表会』の果たす役割が『院内』のみに留まらず、『地域』に根ざし、

座長 杉 春彦  
セクション1 岡崎陽子  
セクション2 郷田芳子  
特別公演

# 平成8年度 院内研究発表会

外来維持透析患者における服薬の現状とその関連因子について

本更津クリニック 石井京子

外来維持透析患者を対象に服薬の実態を面接調査し、服薬行動に影響を及ぼす因子を検討した。その結果、透析患者の服薬行動に影響を与える因子は、透析歴・合併症の有無・

薬の理解状況・医療者の対応方法であることが判った。特に、①透析歴が長い人は、当然理解しているだろうという私たちの在り方を改める。②服薬指導に関するスタッフの認識を改める。③今まで以上に薬剤師との連携を密に取り続けた援助をする。以上を含め、今後も効果的な服薬指導を検討していこうと考えている。

## 特別講演



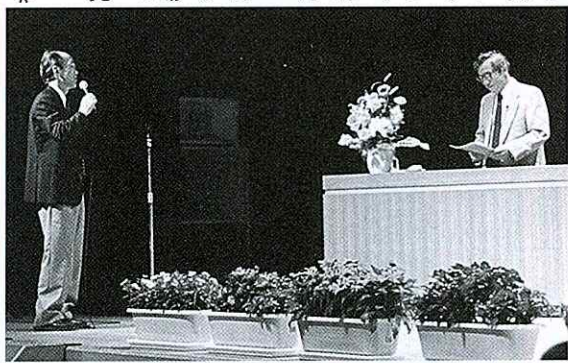
大井玄先生

医師―患者関係はその地域の文化、倫理、

特別講演は前東京大学医学部教授大井玄先生により「告知」をテーマに終末期医療の文化、倫理についてお話をいただいた。講演要旨を左に記した。

から影響を受けている。「告知」の問題においても、文化とのかわりがある。全て「告知」が行われている地域は家族のまとまりがくずれていくところが多く、家族が家族としての機能を果たさないで本人に「告知」をせざるをえない。反対に家族のむすびつきが強い地域は家族に「告知」を行い家族が一種の緩衝作用を行っている。「自己決定の権利尊重」という考えが倫理的、法的にあるが、知力低下など選択できる能力がない場合、信頼できる人に自己決定を行ってもらうのは自然な事である。

特別講演の終了後高田名誉院長より、現場で「告知」を行っている立場からのコメントもあり、熱のはいった質問、意見がかわされた。



大井玄先生に謝辞を述べられる高田名誉院長

## 病院と電気ノイズ

臨床工学科 名古屋龍司

近年携帯電話の急速な普及に伴い、病院内での使用により医療機器が誤作動及び暴走するなど社会問題化している。我々臨床工学科は、携帯電話から放射される電磁波がどのような影響を機器に及ぼすのか臨床で実際に実験し、若干の知見を加えて報告した。結果は既報通り誤作動若しくは目



## 肥満と痩せ

医局 本宮 洋

今日の約半数以上の女性たちの悩みの種である肥満、そして拒食症(神経性食思不振症)に代表される痩せについては、カウンセリングを初めとする精神的治療と摂取カロリーの段階的増量を始めとする身体的治療など、体と心の両面からアプローチする必要が有る。

## 院内ネットワークの現状と今後

電子メールシステム導入を目指して 電算室 大澤廉也

電算室は院内パソコンネットワーク(LAN)システム化を推進するにあたり、短・中期計画を策定した。従来の方針である「ソフト開発・大型汎用機導入」は、昨今の技術革新並びに業界の標準化が定まらない現状では、慎重に推移を見守りながら対処する。それと併行して、平成十年を最終目標とする『院内電子メール』化に向けて「ネットワーク運営・利用者支援」にシフトさせる。また「医事課オフコンも数年かけてネットワークへ順次移行し、ここに医療機関として本格的なネットワークシステムが完了するものとした。職員皆様の御理解・御協力を切にお願いしたい。

## 勤務交替 新しい部署のクラーク業務に慣れるまでのプロセス

クラーク 勝呂千恵子

勤務交替は職員の勤務調整と個々の質の向上を目指す。業務内容、人間関係など不安が大きい。そこで勤務交替に伴う不安を解消するための対策や業務に適切していくまでの問題点と解決策について考察した。どの部署にもマニュアルはあるが、マニュアル通りに動いても問題

は起こる。スタッフと人間関係を円滑にするのと、臨機応変に対応できる知識や技術を習得する努力が問題解決につながった。また、今年度より、勤務交替や新入職したクラークを対象に「研修日誌」を書き始め、日々の業務の問題点を早期に解決すると共に、今後の業務に役立てようと考えている。

## 超音波検査からみた人間ドックの疾患発見率

超音波室 磯部みどり

急速に進む高齢化社会において、人間ドック及び健診への関心は年々高まっている。超音波室は、平成五年～七年の当院ドック受診者(二六九名)より超音波所見を有する一七八名(六六%)について疾患と有所見率を年度・疾患・年齢・性別に分析し比較検討した。昭和六十二年ドック開始より昨年度の総受診者数は延べ六四一名であり、過去三年間での再受診者は全体の四〇%を越える。この数値は健康への関心度を伺うのに充分なものとして、改めて超音波検査の責務を痛感する。今後は再受診者の疾患発見率の向上、早期疾患発見、検査精度向上と良好な画像提供に努める所存である。



シリーズ 病気を考える 15

現代医療の中の漢方

漢方薬は今日において、身近な薬として用いられています。一般的に漢方薬は副作用が少なく、お茶の水で「大坪クリニック」を開院されている大坪謙吾先生に、漢方について解説していただきます。



大坪クリニック院長 (内科・理学診療科・胃腸科) 大坪謙吾先生

大坪先生は患者さんの緊張をほぐすために、診察時は白衣を着ずに患者さんに接しておられます。

漢方薬は身近な存在

保険適用以後二十年経った今、漢方製剤は、日常診療に於て大変身近な存在です。

漢方は「証」が重要

現代医療の「診察→検査→診断→治療」方式に対し漢方は「四診→証の決定→処方」方式です。四診(望聞問切)の中の切診に脈診と腹診という漢方独自の触診法があります。

以前、東大病院に、四国から来院されたご夫婦がありました。二月前、野良仕事の最中、急に奥さんが「喉の奥で虫が這いずる」と言い始め、近医での検査は異常なく、咽喉頭神経症との診断でした。

「発汗・活発等」、逆に陰は(冷え・青白い・無汗・老人等)、実は、(貴乃花的タイプ)、虚(竹久夢二の描く美人的タイプ)に当てる。気(のぼせ・めまい・気うつ等)、血(うつ血・ほてり・静脈瘤等)、水(浮腫・汗・関節水腫等)の有無を診ます。

別称「一番」の葛根湯

一番(製剤番号)の別称で親しまれる葛根湯は、傷寒論に「太陽病、項背強、几几汗無く悪風するは、葛根湯之を主る」と証を定めています。



半夏厚朴湯の著効例

証が正しい場合、著効例がよく見られます。

趣味の欄



パソコンに夢中の本宮先生

私は、多趣味であり、話し始めると長くなりますので、現在の私の趣味となるインターネットについて少しお話ししたい。これは簡単に言うところ「パソコンで旅行をする」と言えはわかりやすいでしょう。

私は、多趣味であり、話し始めると長くなりますので、現在の私の趣味となるインターネットについて少しお話ししたい。これは簡単に言うところ「パソコンで旅行をする」と言えはわかりやすいでしょう。

夏負けによく用いられる清暑益気湯

夏負けも現代医学で対処し難い一つです。虚証の人が暑さで体力消耗、食欲不振、倦怠感、痩せ、盗汗等を訴える症候群で、清暑益気湯、補中益気湯、六君子湯など体力を補助する用いられます。

今後の医療に価値ある漢方

ともあれ漢方は、各人の主訴・病状・体質を重視する個別の医療として、現代医療が見落としがちな部分を補った

「ふれあい看護体験」より



白衣姿の高校三年生

五月十四日の「ふれあい看護体験学習会」に参加した木更津東高等学校三年生の女子四名より後日、お礼の手紙が当院に届いたので、その一部を紹介します。

「看護体験では看護するにあたって、大切なことは何か、看護とはどのようなことをするのかなど、たくさん教えていただきました。絶対に見習いになりました。この体験で、看護士になるという意志がふくらみました。」

「初めは見慣れない光景に動揺した面もありましたが、この時の体験は私の宝物でもあり、看護婦への憧れを決意に変えた体験でもありました。」

新人歓迎ハイキングに参加して



まだまだ余力のある！新入職員

今年入社して、初めて病院主催のハイキングに参加しました。私はAコースを選び、佐貫の駅でバスから降り、歩きました。日射しが強かったのですが、なかなか道なながら仲間と歩ける楽しさがありました。道に変わると、とても歩きづらく大変でした。途中の休憩所でのジュースがおいしかったのを覚えています。

休憩も終わり、ゴールが見えてきた時、約8キロも歩いた自分に驚きました。これから仕事で課題にぶつかっても、頑張れる気がしました。社会人になってから、スポーツする機会がなかなかないので、今回のハイキングはいい運動になりました。とても楽しかったので、来年もみんなで行きたいと思っています。

スピード クッキング

蒸し暑い日が続く、夏バテ気味の方も多いのではないのでしょうか。今回は、思わず食欲をそそる夏バテ防止料理をご紹介します。

「養老卵」(約20分)

- 材料(4人分) 卵三個・油・大和芋一本・うなぎ蒲焼一串・三つ葉 A(出し汁・醤油・みりん)作り方 ①薄焼き卵を四枚焼き、冷ましておく。 ②大和芋は皮をむき、すり下ろしておく。 ③蒲焼は四等分する。 ④三つ葉はさつとゆでる。 ⑤鍋にAを入れ、ひと煮立ちしたら火を止め冷まし、かけ汁をつくる。 ⑥①の薄焼き卵の中央に②の大和芋1/4量と蒲焼1/4枚をのせて包み、④の三つ葉で結ぶ。同様に四個つくる。 ⑦器に⑥を盛り、⑤の冷えたかけ汁をかけ、出来上がり。 ぜひ、一度お試しください。





# 職員紹介

今回は、玄々堂君津病院の中でも患者さんと接する機会が多く、病院の顔でもある医事課受付係の十四名を紹介致します。

- 質問事項**
- ①氏名 ②血液型 ③勤続年数 ④趣味又は自分を花に例えると ⑤役職 ⑥抱負



①佐々木 恵美子 ②B型 ③3年 ④ゴルフ ⑤副主任 ⑥仕事も遊びも楽しくがモットー!! 明るく活気のある職場をめざしています。そして、さまざまな患者さんのご要望にかなった業務を遂行していくことが私達の課題です。幸い我医事課は若さあふれるスタッフ揃いです。(もともと私一人で平均年齢を引き上げておりますが...) 元気印のサービスを今後も心がけていきたいと思っております。



①大口 広美 ②A型 ③11年 ④ドライブ-愛車ビートル君(車の良さはまだまだわかってないけど)でガンガン走るの好き。お酒-たくさんは飲めないけど気持ち良くなれて好き(ストレス解消?) ⑤副主任 ⑥もともとマイナス思考なのでプラス思考で生きていけたらなと思っています。「これでいいや」と満足しちゃったら自分がどんどん落ちていくような気がするので、いろいろながんばっていききたい!



- ①池上 真恵 ②A型 ③5年 ④みやこわすれ(右下)
- ①小林 由紀子 ②A型 ③5年 ④向日葵(左下)
- ①濱田 志信 ②O型 ③3年(右上)
- ①新井本 恵美 ②O型 ③4年 ④プリムラ(左上)

## 医事課受付係



## 幹事長あつらい

四月からすでに、病院行事が新メンバーの幹事によって行われています。そこで本年度幹事長に一言頂きました。



透析室 吉成 昭雄

玄々堂君津病院互助会は、各種の福利厚生のな

前の明るいキャラクターを活かした雰囲気作りと円滑な運営を心掛け、前向きな姿勢で取り組んでいきたいと思っております。今後とも職員の皆様の御協力をどうぞ宜しくお願いいたします。

なお夏以降の院内行事は職員旅行・忘年会・ボーリング大会などです。職員の皆さんどうぞ奮って御参加下さい。



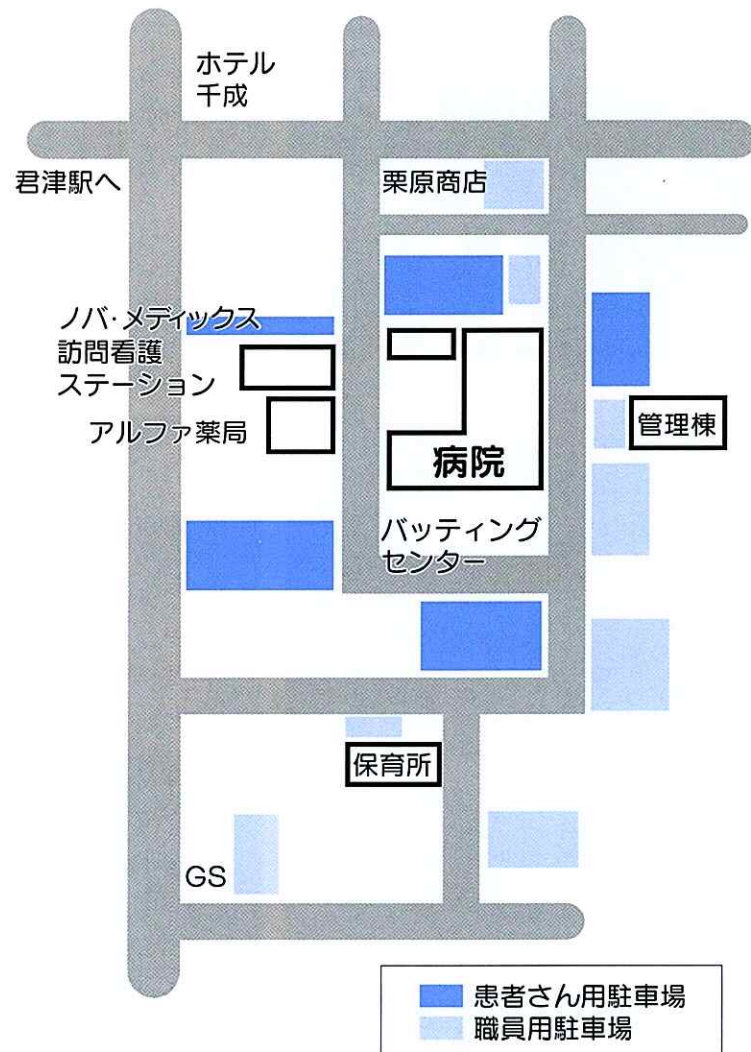
- ①襦田 恵子 ②O型 ③3年 ④秋桜(右下)
- ①大野 由紀子 ②純正B型 ③3年 ④おしろい花(左下)
- ①森谷 し のぶ ②B型 ③4年 ④真つ赤なサルビア(右上)
- ①丸 裕子 ②O型 ③4年 ④向日葵(左上)



- ①東平 利江 ②A型 ③2年 ④百合(右下)
- ①村上 浩子 ②A型 ③2年 ④ガーベラ(左下)
- ①中村 恵里子 ②B型 ③3年 ④チューリップ(右上)
- ①足城 由佳 ②B型 ③3ヶ月 ④たんぽぽ(左上)

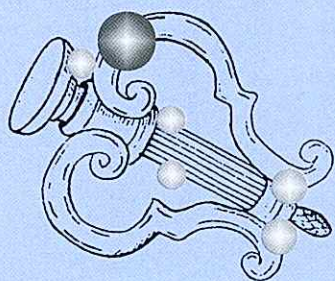
## 駐車場の案内

玄々堂君津病院の駐車場は、下記の図のようになっておりますのでご利用下さい。



## 「サブタイトルはベガ」

今回のサブタイトルは、薬の名前にもつけられている、「ベガ」です。ベガ(こと座α)は七夕の織女星で、はくちよう座のデネブ、わし座のアルタイルとともに、夏の大きな三角形のひとつです。実視等級○・○の白い星で、半径は太陽のほぼ3倍の大きさです。



## 編集後記

◆夏といえば、海、山、そして、Sのコンサート。 E・W

◆今年の夏こそクーラーを購入しようと思ったのだがもうすぐ夏が...来年こそは? H・M

◆画面の感動を、文字で感動、 ヒューマンに感動。 M・Y ◆あまり仕事ができません。次回はがんばります。 S・T ◆寝不足はオリンピックの後遺症?それともヒューマン? Y・M ◆大好きな夏! ちょっと短かすぎるんじゃない? E・M